

# 研究名：特別なニーズを有する子どもの排泄課題の実態を調査する後方視的研究

## 1. 研究の目的

排泄の確立は、身辺自立の重要な課題の一つであり、集団生活への適応においても重要なスキルと言えます。神経発達症をはじめとする、協調運動、感覚統合、自己コントロールや日常生活スキルの発達などに課題をもつお子さんにとって、排泄の問題に直面することは少なくなく、お子さんの発達段階や特性を考慮してトイレトレーニングを進めることが求められます。特別なニーズを持つお子さんの保護者にとって、トイレトレーニングは通常よりも忍耐や時間を要し、育児ストレスの増加との関連がこれまでの文献でも示唆されていることから、親子の関係性にも影響を及ぼす可能性があります。お子さんにとって、排泄自立は尿路感染症など身体面だけでなく、こころの問題、あるいはその悪化の恐れもあります。このように、お子さんの心身の健康、将来の自立、集団適応や親子関係に大きく関与する、排泄の自立に関わる重要性から、児童精神科外来を受診するお子さんのご家族から排泄自立において寄せられる相談内容を分析・評価し、支援が必要な領域や介入の手がかり、医療が担える役割について検討することを目的として、本研究を計画しました。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：2024年4月～2025年3月に、当センターこころの診療科に、発達障害もしくは情緒的問題で受診した患者のうち、排泄の自立、もしくはそのほかの排泄に関連した困りごとがある患者
- ② 研究期間：研究機関の長の研究実施許可後～2027年3月31日
- ③ 研究方法：電子診療録を用いた後方視的調査

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

初診時年齢、性別、こころの診療科における診断、発達検査や知能検査の結果、服用中の薬、身体疾患、排尿・排便の自立の程度や夜尿、トイレに対する抵抗感や排泄時のこだわりなど排泄に関する問題 等

## 4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、個人情報を削除した情報を結びつける資料は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者小林まどか

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療科 小林まどか  
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
電話：03-3416-0181（内線：7258）